

瑞浪恵那道路ではたらく技術者特集

瑞浪恵那道路の現場ではたらく技術者のみなさんを、私“みずえちゃん”が紹介しますよ！

今回は、
『平成30年度瑞浪恵那道路釜戸地区下部工事』の
現場代理人 中島さんをインタビューしてみました



多治見砂防国道事務所では、国道19号瑞浪恵那道路の事業のことを広く知っていただく取り組みの一つとして、工事現場ではたらく技術者を紹介しています。

第1回は、県道65号線付近の佐々良木川にて橋台を造っている株式会社 中島工務店の 中島さんを紹介します。

1. 中島さんの横顔など

- 出身地：岐阜県中津川市
- 入社：平成25年中途入社
- 好きなこと・趣味など
ウィンタースポーツが好き

とにかく雪山が好きで高校の進学先を決めるときも、スキー部に入りたいとの理由だけで高山市にある高山工業高校に決めたいくらい好きみたい。週末に子供と雪山に行くのが楽しみみたい。



2. 中島さんがこの仕事を選んだわけ

「特にこれと言ってやりたいことがなく自由気ままに生きていましたが、高校生活も残り1年となった高3の春、さすがに将来のことを真剣に考えないとまずいと薄々感じていたところに叔父から『将来は何するんや？』と質問され、咄嗟に出た言葉が『土木をやる』でした。」

そんな理由でこの仕事をなさっていますがまんざら嫌いじゃないみたいですね。

3. 釜戸下部工事作業所での中島さんの役割など

工事現場全体の管理を行っています。

管理と一言で言っても、

- ・安全管理(現場に従事するすべての人が怪我無く一日を終えられるようにする)
- ・工程管理(決められた期間内に決められたものを造る)
- ・品質管理(造るものが決められた品質以上になるようにする)
- ・原価管理(いいものを安く造ったり、みんながご飯を食べられるように少しでも利益が上がるようにする)

と多岐にわたります。

また、発注者との打ち合わせや下請けさんとの打ち合わせなどたくさんの人と関わりながら現場を進めていくのが役割です。

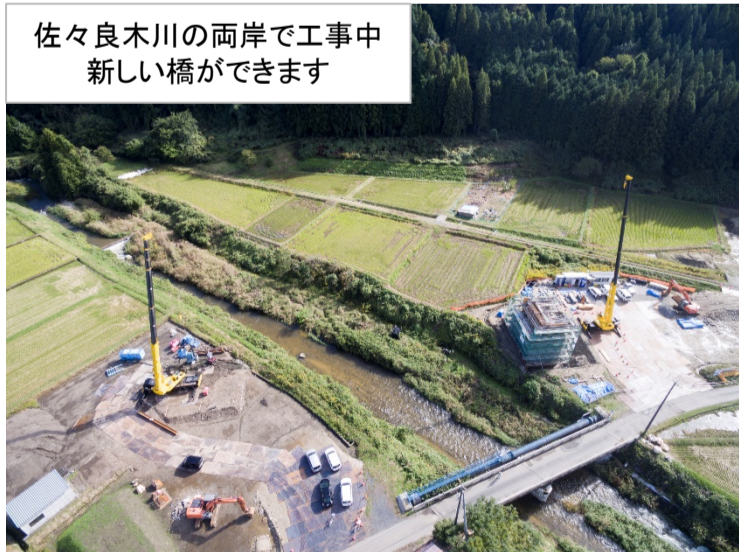


佐々良木川の両岸で橋台を造っています

4. インタビュー【現場での工夫などのアピールポイントなど】

現場では土を掘ったりコンクリートを打ったり夏は暑かったり冬は寒かったり思うように進まなかったり苦労は絶えませんが、朝には元気に『おはよう』と言い、休憩時間にはくだらない話でみんなが笑い、夕方には『お疲れ様』と言い合える雰囲気の良い現場を目指しています。

佐々良木川の両岸で工事中
新しい橋ができます



現場見学会なども
やっています



朝のラジオ体操は沖縄の
方言バージョンで。

5. 編集後記

なかなか、工事の展開が難しそうですね。

地域の発展のために頑張ってください。応援しています！

さて、次回は

『平成30年度瑞浪恵那道路瑞浪地区下部工事』の堀部さんを特集します！

軽快なお仕事ぶりを紹介しますよ ご期待ください。

